



平成30年度 学校だより

学校ホームページ <http://minamisyo.nagaizumi.ed.jp/>

みなみっ子

長泉町立南小学校

No. 43

平成30年11月6日

学校教育目標 「夢のある子」～めあてをもってがんばる子～

今年度の芸術鑑賞会は創作和太鼓「打鼓音」



エネルギーが伝わってくる!

1年おきに演劇と音楽の鑑賞を楽しむ、本校恒例の芸術鑑賞会。今回は**創作和太鼓集団「打鼓音」**の皆さんに本校にいらしていただき、迫力ある太鼓の音を楽しみました。

ステージの袖から出てくると思っていたら、後ろから太鼓と鐘をリズムよく鳴らして登場したメンバーのみなさん。体育館ではマイクを使わないのに、太鼓の音が身体の奥に響いてきます。あれっ、前日のある授業で思うように学習が進まず泣いていた**ある男子が身体を揺らしながら目を見開いて聴いています**。すごい!太鼓の力。

太鼓の種類を説明してもらいました。長胴(ながどう)

太鼓、桶胴(おけどう)太鼓、締(しめ)太鼓などの名前を聞き、「あれ、大太鼓っていうんじゃないんだ。」などのつぶやきが上がりました。

特別ゲストの**牛太郎**さん(お子様にお聞きください)が登場し、太鼓は牛の皮を張って作ること、3頭の子どもを産んだ牛の皮でないといふ太鼓ができないということ、引っ張って伸びる皮が最高だということなど、豆知識も得ました。各学級2名がメンバーの方の発する声の後について太鼓を打たせてもらいました。それに合わせて、**見ているみんなも手拍子**です。中には、手を挙げて**エア太鼓**をしている子もいました。打ちたかったよね!



おにいさんありがとう!



みなみっ子たちも太鼓をたたいた!

曲が終わるたびに、「すごい!」という声が聞こえてきました。「先生、太鼓の音で**わたしの身体の中も揺れているのがわかるよ**。」という声も聞かれました。打鼓音さんの迫力ある音、身体が野生に戻るようなリズムを楽しんでいるうちにあっという間に時間が過ぎました。男性奏者のみならず、女性奏者の方の**あまりにも速い腕の動き**に「かっこいい!」の声も生まれていました。

子どもたちの感想から…。

(子どもたちの描いたメンバーさんの絵があまりにもかわいいので裏面に載せました。)

「たいこのおとでまつりみたいにたのしかったです。(1年)」

「たいじょうのとき、たっちできて、すごうれしかったです。きんにくむきむきでした。(2年)」

「らい年もきてほしいな～と思いました。こんど来てくれたら、たいこをたたきたいです。(2年)」

「体ぜんたいにしんどうがおこって、じしんみたいでした。(3年)」

「ぼくは、今日のえんそうで太鼓が大好きになりました。(4年)」

「たたいている方たちは、すごいつかれているのに、ずっと笑顔だったからすてきだなと思いました。(4年)」

「男の人がいろいろな太鼓を一気に叩いている姿がかっこよかった。(5年)」

「一番好きな曲は、最初の『祝伝』です。(5年)」

「一番印象に残った曲は『鼓響』です。いろんな太鼓の音が交じり合って心にすごい残る曲でした。(5年)」

「チャッパを鳴らしている方の手の細かい動きがすごい。(5年)」

「私は、和太鼓の演奏を初めて聴きました。しんどうが体中に響きました。(6年)」

「ぼくは太鼓の演奏体験に参加した時、『ドン』と『コン』と『カッ』という叩く時の知識もわかりました。(6年)」

